八軒中央地区まちづくりビジョン

未来へとつづく
にぎわいがあるまちづくり

～にぎわいから始まる地域のコミュニティ～

目　　次

はじめに 1
第１章　八軒中央地区まちづくりビジョン 3
　１．まちづくりビジョン策定の背景･目的 3
　２．まちづくりビジョンの策定経緯 4
第２章　八軒中央地区の魅力や地域資源 5
　１．生活･交通利便性に優れ、地域の憩いの場がある環境..... 6
　２．地域のまちづくりに関わるたくさんの団体等 7
　３．年間を通し多くの人でにぎわいあふれる行事を開催..... 8
　４．地域が誇る伝統文化「八軒音頭」 9
　５．地域の皆さんが思う八軒中央地区の魅力や地域資源 10
第３章　まちの将来像と目標 11
第４章　ビジョンの推進に向けて 12
第５章　「にぎわいづくり」はっけんのアイディア集 13
　１．「にぎわいづくり」に向けた取組のアイディア集 13
　２．その他、「にぎわいづくり」に向けたアイディア集 15

はじめに

八軒中央地区のまちづくりについて

八軒中央連合町内会　会長　石井　光郎

このたび札幌市のご支援により、５年後 10 年後の当地区のまちづくりの目標となる「八軒中央地区まちづくりビジョン」を策定しました。２度に渡るワークショップには一般公募した市民の方、地域の中学生をはじめ 20 名を越すみなさんに参加していただき、この地域への想いやもっと住みよいまちにしたいとのアイディアを語っていただきました。

そのような話し合いの中から我が地区の将来像を、「未来へとつづくにぎわいがあるまちづくり」、サブテーマとして「にぎわいから始まる地域のコミュニティ」という中心軸を考えました。そのうえで、三項目の具体的なビジョンを策定し、今後実践していく所存です。

昨今、連合町内会も単位町内会も「役員の担い手が少ない」「高齢化が進んでいる」「行事への参加が減っており、参加者も固定化している」などの悩みをよく耳にします。

「町内会」は私たちの多くの先輩方が今日まで繋いできた「助け合い、支え合い」の財産だと考えています。私たちはこの貴重な財産を次の世代に確実に繋ぐ任務があります。幸い、市民意識調査では７割の市民が町内会の必要性を考えています。そして、条件さえあえば参加、協力したい人の割合も高くなっています。

そういう意味では私たちも前例踏襲にこだわらず、変わらなくてはなりません。いわば、町内会は試されていると思います。今回のまちづくりビジョンの策定はそのための第一歩です。今から２年前の平成 31 年４月に当連合町内会は創立 30 周年を迎えました。あのときの記念式典や記念行事を取り組むなかで実感した、「八軒中央っていいね！」という地域への愛着をみなさまと一緒に広げていきましょう。

八軒中央連合町内会が取り組んできたこと

八軒中央連合町内会は、八軒連合町内会から分かれた 29 の町内会により平成元年４月に発足しました。

現在では 44 の町内会が加盟し、平成 31 年４月に創立 30 周年を迎え、八軒中央地区の人々（People）がハッピーでありますようにとの願いを込め、「ハＰ（ハッピー）」を合言葉に、各町内会の範囲を超えた広域の活動や、町内会相互の連絡調整などを行っています。

また、四季折々の行事（納涼まつり、アイスキャンドル）や地域団体と協力した行事（八軒万博）、地域の文化継承（八軒音頭）など、交流を通した地域のコミュニティづくりを大切にし、様々な行事を実施しています。

みんなが「ハＰ（ハッピー）」になれるよう、
子どもから大人までたくさんの人が
地域活動に参加しているね

八軒中央地区マスコットキャラクター
「はっけんくん」

第１章　八軒中央地区まちづくりビジョン

１．まちづくりビジョン策定の背景・目的

自分たちが、自分たちの住んでいる地域を「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちにするための取組が「まちづくり」です。

地域のまちづくりを進めるうえで、重要となるのは地域全体の「人と人とのコミュニティ」であり、多くの人が参加・協力できる「にぎわい」を通じて、顔と顔が見える人間関係の構築が大切であると考えます。

八軒中央連合町内会では、それを第一に考え、にぎわいから始まる地域のコミュニティづくりを通して、創立 30 周年記念で掲げたテーマ「未来へとつづくまちづくり」を進めています。

昨今、八軒中央連合町内会を取り巻く状況は「役員の担い手不足」「行事等への参加者の減少」など様々な課題が山積みしています。これらの課題解決に向け、八軒中央連合町内会も変わっていかなければなりません。

また、時代の変化に伴い、地域住民のニーズやコミュニケーションの手段も多様化していることから、今後はそれらを的確に捉え、その時々に適した取組を進めることが求められています。

これらを踏まえ、この度、５年後 10 年後を見据えたまちづくり活動を進めていくための指針となる「八軒中央地区まちづくりビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定しました。

このビジョンを土台として、さらなる活動の発展とにぎわいあふれる八軒中央地区のまちづくりを進めていきます。

２．まちづくりビジョンの策定経緯

まちづくりビジョンの策定にあたり、地域のみんなが「八軒中央地区に住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思えるように、八軒中央地区の地域の魅力や地域資源などを見つめ直し、それらを活かした「にぎわいづくり」の取組のアイディアについて検討を行いました。

検討にあたっては、連合町内会役員のほか、地域の中学生を含む公募で集まった一般参加者により、ワークショップ（グループ形式の意見交換会）を行いました。

第１回ワークショップ（令和２年 11 月 28 日）

【地域の魅力や地域資源の共有、「にぎわいづくり」のアイディア】

八軒中央地区の魅力や地域資源、「にぎわいづくり」に向けて地域の魅力や地域資源を活かすためのアイディアについて意見交換しました。

第２回ワークショップ（令和３年１月 23 日）

【にぎわいづくりに向けた取組のアイディア】

第１回ワークショップの内容を踏まえ、具体的な視点も取り入れながら「にぎわいづくり」に必要な取組のアイディアについて意見交換しました。

八軒中央連合町内会臨時総会（令和３年３月 28 日）

【八軒中央地区まちづくりビジョン案の報告・提案】

八軒中央地区まちづくりビジョンの策定

第２章　八軒中央地区の魅力や地域資源

まず、八軒中央地区の魅力や地域資源について、『生活・交通利便性に優れ、地域の憩いの場がある環境』『地域のまちづくりに関わるたくさんの団体等』『年間を通し多くの人でにぎわいあふれる行事を開催』『地域が誇る伝統文化「八軒音頭」』があることを、皆さんで共有しました。

生活・交通利便性に優れ、地域の憩いの場がある環境

地域のまちづくりに関わるたくさんの団体等

年間を通し多くの人でにぎわいあふれる行事を開催

地域が誇る伝統文化「八軒音頭」

八軒中央地区の魅力や地域資源を見に行こう

Ⅰ．生活･交通利便性に優れ、地域の憩いの場がある環境

八軒中央地区は、東と北を琴似川（新川）、西を琴似発寒川、そして南を下手稲通に囲まれた閑静な住宅街です。

ＪＲ八軒駅や下手稲通などの主要幹線道路が走り、交通の利便性も高く、マンションも増えており、令和３年１月１日時点の人口･世帯は 15,746 人（男性 7,417 人、女性 8,329 人）、8,317 世帯となっています。

また、様々なイベントが行われる「八軒中央公園」「はちけん地区センター」のほか、「エイトグリーンコース（パークゴルフ場）」など地域に親しまれる場があります。

さらに、周辺には「琴似川桜並木」や「農試公園」など、自然を楽しめる地域の憩いの場があります。

エイトグリーンコース

琴似川桜並木

農試公園

はちけん地区センター

八軒中央公園

２．地域のまちづくりに関わるたくさんの団体等

八軒中央地区では、連合町内会・単位町内会をはじめ、たくさんの団体がまちづくり活動に参加しており、大きく分けて「ふれあいづくり」「安全・安心な地域づくり」「生きがいづくり」に関する取組などを行っています。

ふれあいづくり

八軒中央地区民生委員･児童委員協議会
八軒中央地区福祉のまち推進センター
札幌市赤十字奉仕団八軒分団
八軒中央地区青少年育成委員会
八軒音頭保存会
タウンネットワークストリート１０
八軒中央会館運営委員会
八軒商店会

安全・安心な地域づくり

西区交通安全指導員会八軒中央支部
青パト八Ｐ隊（ハッピー隊）
札幌市西消防団八軒分団
札幌市自衛隊協力会八軒中央分会
八軒中央地区統計調査員協議会

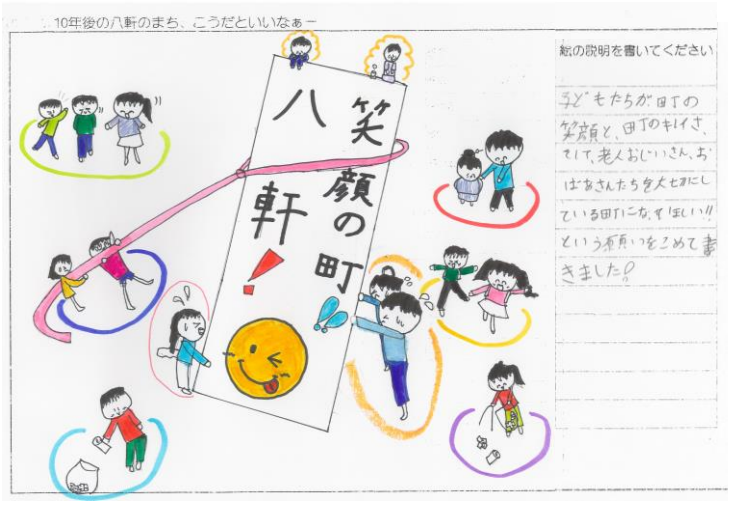
生きがいづくり

琴似中央体育振興会
老人クラブ

また、八軒中央地区には、小学校２校、中学校１校があり、地域行事への参加や、地域のまちづくりを応援するマスコットキャラクターデザインなど、子どもたちもまちづくり活動に参加しています。

八軒中央地区マスコットキャラクター「はっけんくん」

子どもたちが描く八軒中央の未来



３．年間を通し多くの人でにぎわいあふれる行事を開催

八軒中央地区では、「八軒中央納涼まつり」や「アイスキャンドル冬物語 in 八軒中央」など、四季ごとに魅力的な行事が行われており、年間を通して、多くの人のにぎわいにあふれています。

やまめの稚魚放流
（稚魚放流事業実行委員会）

八軒中央納涼まつり
（八軒中央納涼まつり実行委員会）

八軒中央地区文化祭作品展
（八軒中央連合町内会）

アイスキャンドル冬物語 in 八軒中央
（タウンネットワークストリート１０）

また、八軒商店会が主催となり、「八軒万博」「八軒ふれあい夏祭り」など、子どもから大人まで楽しめる行事も開催されています。

八軒万博

八軒ふれあい夏祭り

４．地域が誇る伝統文化「八軒音頭」

八軒中央地区の伝統文化「八軒音頭」は、30 年以上踊り継がれており、次世代（八軒の子どもたち）に継承され、郷土愛を育み魅力ある地域づくりを進めるうえで、重要な役割を担っています。

八軒音頭＆八軒音頭ジュニア

八軒音頭

作詞 深町春子
作曲 神居天童
振付 若柳仁里

一、
ハァ～汗で拓いた八人衆が
つけた小さな村あかり
ソリャ今じゃ都さここ八軒は
苦労しのんだ花が咲く
ソレ
八軒よいとこ花の街
住めば都よ花の街

二、
ハァ～手稲おろしがこずえをゆすり
むかし語りに花が咲く
ソリャ歴史の流れに先人思い
やがてまどいの世はふける
ソレ星がきれいだ見上げてごらん
住めば都よロマン街

三、
ハァ～目元すずしく可愛いあの娘
今じゃ八軒人の妻
ソリャ隣どうしもスクラム組んで
交わす笑顔でこんにちは
ソレ寄れば楽しいのど自慢
住めば都よ歌の街

四、
ハァ～農試公園うららな日和
空を眺める顔と顔
ソリャたわむれ遊ぶ親子連れ
両手つないで輪になって
ソレ未来を呼んでる招いてる
住めば都よ平和まち

五、
ハァ～虹の大橋目指してゆけば
七つの幸せ待つ二人
ソリャ心ゆたかに手を取り合って
明日に向かって顔上げて
ソレサァサ踊ろよ八軒音頭
住めば都よ夢の街

八軒音頭
八軒音頭保存会

５．地域の皆さんが思う八軒中央地区の魅力や地域資源

八軒中央地区の魅力や地域資源について、地域の皆さんから出された主な意見をご紹介します。

地域資源

●八軒中学校脇にあるポプラの木は、とても立派で印象的だから何かに活かせないかな。
●農試公園は、親子連れが集まる場所になっているよ。
●地域内では、綺麗な景色、自然が見られ、特に農試公園越しの手稲山の夕日が綺麗だよ。
●八軒中央地区にとって、新川（琴似川）は大事な資源だと思う。自然豊かで花が多く、魚の遡上とか鳥も見られて景色も良いところが魅力かな。
●盆踊り、仮装大会、納涼まつり、アイスキャンドルが魅力的だと思う。

地域特性

●保育環境の充実や、買物に不自由しなくて生活利便性が良い街かな。
●児童会館が協力的な地域だと思う。

学校との取組

●小学生が、高齢者の居住状況や防災資機材の場所など、地域のことをよく知っているよ。
●八軒北小学校の和太鼓クラブが一生懸命活動していて演奏も凄いよ。
●琴似中央小学校で行っている室内運動会は、連合町内会が主催し、子ども達が企画しているよ。
●八軒中学校が、「みんなの音楽会」を主体的に運営するようになったよ。

歴史・文化

●八軒音頭は参加してみると楽しいけど周りに知らない人が多いかな。

八軒中央地区の魅力や地域資源を生かして、
どんなまちになるのが理想かな

第３章　まちの将来像と目標

八軒中央地区の将来像は、連合町内会の創立 30 周年記念で掲げられた「未来へとつづくまちづくり」というテーマを継承し、にぎわいを通した「地域のコミュニティづくり」を実践していくため、「未来へとつづくにぎわいがあるまちづくり～にぎわいから始まる地域のコミュニティ～」としました。

また、将来像の実現に向かって、ワークショップの意見を踏まえ、３つの目標を設定し、目標ごとに取組の方向性をまとめました。

将来像の実現を目指して、住民と地域団体が一体となったまちづくりを進めます。

将来像『未来へとつづくにぎわいがあるまちづくり』
～にぎわいから始まる地域のコミュニティ～

目標１　地域資源や歴史を活かしたコミュニティづくり

八軒中央地区の地域資源や歴史を活かし、地域住民などが繋がれる仕組みづくりや取組を進めていきます。

目標２　親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

八軒中央地区で実施する行事に、積極的に参加・協力してもらう仕組みづくりや取組を進めていきます。

目標３　次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

八軒中央地区のまちづくり活動を、次世代に繋いでいくための仕組みづくりや取組を進めていきます。

連合町内会が主体となって、各目標を踏まえた事業の検討やビジョンの推進に向けた組織体制の構築を進めていきます。

第４章　ビジョンの推進に向けて

ビジョンの推進に向けて、地域の様々な団体等との連携が不可欠です。ビジョンの考え方や取組内容を共有し、コミュニケーションを密にして、地域一丸となってまちづくりを進めていきます。

そのためには、八軒中央連合町内会が主体となりビジョン推進を担う組織を立ち上げ、地域の皆さんとの意見交換や取組に参加していただくための仕組みづくりを行っていきます。

その中で、今後の担い手となる子どもや若い世代、高齢者世代など多世代での交流を継続して行い、地域への愛着を育み、５年後 10 年後の未来へとつづくまちづくりを進めていきます。

第５章　「にぎわいづくり」はっけんのアイディア集

ワークショップでは、地域の魅力や地域資源を活かした「にぎわいづくり」に向けて、大変多くのご意見やアイディアを出していただきましたので、主な内容をご紹介いたします。

Ⅰ．「にぎわいづくり」に向けた取組のアイディア集

インターネットを通じた情報発信

●どんなことをやるの？
⇒より多くの世代が、地域の情報を得られる手段として、ホームページの作成や SNS の活用などを行いたい。

●どうやってやるの？
⇒地域の学生や保護者、若い世代、IT 系事業者に協力してもらい、ホームページ等の運営、情報発信を行いたい。

●どうやったら人が集まるかな？
⇒町内会の取組、生活の情報、小中学生の活動報告、八軒音頭やバーチャル散歩の動画配信など、地域に密着した情報発信を行う。

目標１　地域資源や歴史を活かしたコミュニティづくり

目標２　親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

子ども向けの非日常体験イベント

●どんなことやるの？
⇒子ども向けの体験イベント（昔あそび、紙芝居、餅つきなど）を開催し、子育て世代など若い人が、町内会の活動に関わるためのきっかけや、集まる場所を作りたい。

●どうやってやるの？
⇒企画や運営にあたり、地域の学生や老人クラブに協力してもらう。

●どうやったら人が集まるかな？
⇒地域の会館、公園、駐車場など、会場ごとで体験を楽しめる仕組みがあると良い。

目標２　親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

子どもが主体となって運営するバザー

●どんなことやるの？
⇒地域の学生が主体となり、大人のサポートのもとで、バザーの企画から運営まで行う。

●どうやってやるの？
⇒イベントの告知は、地域の学校に協力してもらい、掲示やアナウンスなどしてもらうと良い。

●どうやったら人が集まるかな？
⇒バザーのほか、より盛り上がるイベントにするために、飲食ブースや、吹奏楽やダンスの披露、餅巻きなどの小イベントもあると良い。

目標２　親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

目標３　次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

取組を繋げる、継続するための仕掛けづくり

●どんなことやるの？
⇒「にぎわいづくり」に関する様々な取組などを繋げることで、地域活動との接点を増やす機会を作りたい。

●どうやってやるの？
⇒様々な団体等と連携できる場や仕掛けづくりを行う。

●どうやったら人が集まるかな？
⇒例えば、写真コンテストがあり、既存の地域資源やイベントと連動させ、通年で実施するなどいろんな人が参加できるようにする。

目標３　次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

２．その他、「にぎわいづくり」に向けたアイディア集

目標１　地域資源や歴史を活かしたコミュニティづくり

【桜並木（新川通沿い）、新川（琴似川）】

●桜並木（新川通沿い）を、バーベキューなどができるような憩いの場として整備

●桜が咲いている時期に撮影し、自宅でバーチャル散歩＆花見

●新川（琴似川）を題材にした写真コンテストの開催

●北区側とタイアップした新川（琴似川）の拠点としてのＰＲの実施

【自然・景観】

●八軒中央地区のオススメスポットを巡るウオーキングコースの設定、ウオーキングコース内に鳥や自然の情報などの案内板を設置。

●八軒中学校脇にあるポプラの木を題材とした俳句や絵画の展覧会の開催

【農試公園】

●農試公園をみんなで清掃してより綺麗にし、多世代が集まる憩いの場として整備

●農試公園で行っているラジオ体操の継続実施

【歴史・伝統・文化】

●八軒音頭ジュニアの会員数を増やす取組の継続実施

●八軒北小学校の和太鼓の活用促進

●昔ながらの食事を子どもたちと一緒に作るイベントの開催

●子どもたちを対象に、語り部から八軒の歴史を話したり、昔の童謡を一緒に歌うなどのイベントの開催

目標２　親睦・交流・情報発信を通じたコミュニティづくり

【親睦・交流】

●多世代交流を深められる場の確保

●保護者に代わり、地域の高齢者が子どもを見守る協力体制づくり

【情報発信】

●ホームページの作成による幅広い年代層への情報発信

●八軒の伝統文化や自然を紹介する「八軒コーナー」の設置

●地域の魅力的な場所を発信するマップの作成

●情報の拠点となる場所の確保、掲示板の設置

目標３　次世代の担い手に繋ぐコミュニティづくり

【取組の担い手づくり】

●若い世代が主体的に取り組める体制づくり

●将来に向けた新川（琴似川）の拠点づくり

●地域活動にいろんな人を巻き込む仕掛けづくり

●総合学習の年齢や内容の拡充への働きかけ

【歴史・文化の継承】

●八軒北小学校が行っている和太鼓の継承

●八軒中学校の生徒に、紙芝居の読み聞かせを継承

皆さんからの意見を踏まえて、ビジョンの目標の実現に向けた取組を検討していきます！
ビジョン策定にあたり、ワークショップにご参加いただいた地域の皆さん本当にありがとうございました！

八軒中央地区まちづくりビジョン

発行：令和3年3月

作成：八軒中央連合町内会